

風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第8条に基づく風俗営業の許可の取消しに係る処分基準新旧対照表（案）

（改正部分は、下線部分である。）

旧	新
<p>処分基準</p> <p style="text-align: right;">令和2年1月10日作成</p>	<p>処分基準</p> <p style="text-align: right;">令和●年●月●日作成</p>
<p>法令名：風俗営業等適正化法</p>	<p>法令名：風俗営業等適正化法</p>
<p>根拠条項：第8条</p>	<p>根拠条項：第8条</p>
<p>処分の概要：風俗営業の許可の取消し</p>	<p>処分の概要：風俗営業の許可の取消し</p>
<p>原権者（委任先）：福岡県公安委員会</p>	<p>原権者（委任先）：福岡県公安委員会</p>
<p>法令の定め：</p> <p>風俗営業等適正化法第3条（許可）、第4条（許可の基準）、第7条（承認）、第7条の2（承認）及び第7条の3（承認）</p> <p>風俗営業等適正化法施行規則第6条（暴力的不法行為その他の罪に当たる行為）、第6条の2（心身の故障により風俗営業の業務を適正に実施することができない者）</p>	<p>法令の定め：</p> <p>風俗営業等適正化法第3条（許可）、第4条（許可の基準）、第7条（承認）、第7条の2（承認）及び第7条の3（承認）</p> <p>風俗営業等適正化法施行規則第6条（暴力的不法行為その他の罪に当たる行為）、第6条の2（心身の故障により風俗営業の業務を適正に実施することができない者）</p>
<p>処分基準：</p> <p>風俗営業等適正化法第8条各号に掲げるいずれかの事実が判明したときは、以下のように、速やかに是正、回復等を行うことができ、かつ、現に是正、回復をしようとしている場合等で悪意がない又はごく軽微な場合を除き、風俗営業の許可（承認）を取り消すこととする。</p> <p>・ <u>第4条第1項第11号に該当することとなった場合で、事実判明後、法人が速やかにその者の解任手続を進めているようなとき。</u></p>	<p>処分基準：</p> <p>風俗営業等適正化法第8条各号に掲げるいずれかの事実が判明したときは、以下のように、速やかに是正、回復等を行うことができ、かつ、現に是正、回復をしようとしている場合等で悪意がない又はごく軽微な場合を除き、風俗営業の許可（承認）を取り消すこととする。</p> <p>・ <u>第4条第1項第7号に該当することとなった場合で、事実判明後、法人が速やかにその者との密接な関係を絶とうとしているようなとき。</u></p> <p>・ <u>第4条第1項第12号に該当することとなった場合で、事実判明後、法人が速やかにその者の解任手続を進めているようなとき。</u></p>
<p>問合せ先：営業所の所在地を管轄する警察署生活安全（生活安全刑事）課又は警察本部生活保安課（092）641-4141 内3185</p>	<p>問合せ先：営業所の所在地を管轄する警察署の生活安全担当課又は警察本部生活保安課（092）641-4141 内3185</p>
<p>備考：</p>	<p>備考：</p>